提出課題一覧表　4

町会連合会名	森 山 校 下 町 会 連 合 会
共通課題	若者世代の定住促進 （親子の「同居」、「近居」を推奨する施策について）
意見、質問の内容	馬場、浅野町、森山校下では、「同居」が減っている一方で、住居は異なるものの、日常的な往来ができる範囲、いわゆる“スープの冷めない距離”に居住する「近居」は増加傾向にあります。 しかし、各校下の中でも「まちなか区域」では、子世帯が「近居」を希望していても、土地代が高い、また土地が狭くて自家用車も駐車するスペースがないなど、適地が見つからない場合が多く、やむを得ず郊外へ転出するケースも見受けられる。 地元としては、世代を越えた地域コミュニティを維持するためにも、特に、各校下の「まちなか区域」を中心に、子世帯が親世帯と近隣に居住することを推奨するための取り組みが必要であると考えている。 そのためには、地域として、こども見守りボランティアなど、まち全体で地域の子ども達を見守る体制づくりや、各世代の交流の促進により、子世帯が安心して地域に住み続けることができる環境を整備することが大切だと考えている。 市においては、各校下の「まちなか区域」において、子世帯が親世帯と「同居」又は「近居」するための住宅の新築、購入、増改築等への助成枠の拡大又は税制面での優遇なども検討していただきたい。

提出課題についての市の方針等４

共通課題	若者世代の定住促進 （親子の「同居」、「近居」を推奨する施策について）
意見・質問等	金沢市においては、各校下の「まちなか区域」において、子世帯が親世帯と「同居」又は「近居」するための住宅の新築、購入、増改築等への助成枠の拡大又は税制面での優遇なども検討していただきたい。
市の方針等	

少子高齢化が進む中、「同居」「隣居」「近居」を推進し、家族間の絆や地域のコミュニティを深めることは、子育て世帯や高齢者にやさしい住環境づくりに大切だと考えている。

まちなか区域は、フラットバスなど公共交通機関が充実しており、市としては、この中で親世帯と子世帯が居住することは、実質的に「近居」にあたると位置づけている。

まちなか区域では、定住を促進するため、戸建て住宅の新築・購入など様々な支援を行っており、この仕組みでは、「同居」を促進するために基本支援額を５割増しとしているほか、子世帯が住宅を求めやすいよう45歳未満の若者世帯やＵＪＩターン世帯に対し加算制度を設けている。今年度は、新たに60歳以上の親世帯がまちなか区域で住宅を取得する際の加算制度を追加するなどの拡充を図ったところであり、引き続き、社会情勢や「同居」「隣居」「近居」の動向を見定め、必要な対策を講じてまいりたい。

なお、税制面では、同居のリフォームに対する所得税の特例措置がありますが、詳細は、税務署にお問い合わせいただくこととなる。

担当課	住宅政策課　　電話　220-2136